

インタラクシオン：響きあうところ

📍 岡山ガラス美術館(西町) ☎ 461-3100

🌐 <https://toyama-glass-art-museum.jp/>

本展では「対話」を意味する「インタラクシオン」をテーマに、私たちの感覚や記憶に作用する作品を展示します。作家たちが世界と自身のつながりを感じとる中で生み出した作品表現をお楽しみください。

会期 12月12日(土)～令和3年3月14日(日)

場所 ガラス美術館 2階 展示室 1・2

開場時間 9:30～18:00
(金)は20:00まで、12月29日(火)～1月3日(日)は17:00まで
※入場は閉場の30分前まで。
※初日のみ開会式(10:30～)終了後に開場。

閉場日 第1・第3(水)、12月31日(木)

出品作家 あかまつねる いそやひろふみ ささききり
赤松音呂さん、磯谷博史さん、佐々木類さん(五十音順)

観覧料 一般700円(500円)、大学生500円(400円)
※高校生以下無料。 ※()内は20名以上の団体。
※本展観覧券で常設展も観覧可。12月14日(月)～18日(金)および3月1日(月)～5日(金)は、常設展の一部が臨時閉場。



1



2



4



3



5

1. 佐々木類《Liquid Sunshine / I am a Pluviophile》2019年、コーニングガラス美術館蔵 Corning Museum of Glass(2018.6.2), 33rd Rakow Commission, funded by the Juliette K. and Leonard S. Rakow Endowment Fund.
2. 赤松音呂《チジキンツ》2013年、作家蔵、©赤松音呂 展示風景:「CYBERARTS 2015」OK Center for Contemporary Art[リンツ、オーストリア]、2015年
3. 赤松音呂《チョウズマキ》2020年、作家蔵、©赤松音呂
4. 磯谷博史 展示風景:「六本木クロッシング2019展:つないでみる」森美術館[東京]、2019年
5. 磯谷博史《12 hours》2005年、作家蔵

関連プログラム

◆出品作家によるアーティストトーク

3人の出品作家による作品解説です。

日時 12月12日(土)11:30～

場所 ガラス美術館 2階 ロビー

※費用・申込不要。

◆見どころトーク

学芸員による展覧会解説です。

日時 12月19日(土)、27日(日)14:00～

場所 ガラス美術館 2階 会議室 1・2

※費用・申込不要。

※当日の展覧会観覧券が必要です。



富山ガラス工房 冬休み特別制作体験

世界にひとつのガラスを作ろう!

富山ガラス工房 ☎436-3322

小・中学生は特別料金で制作できます。冬休みの思い出に、世界にひとつのガラス作品を作りませんか。

期間

12月19日(土)~27日(日)、令和3年1月5日(火)~7日(木)

吹きガラス



溶けているガラスに息を吹き込んで、オリジナルコップなどの器を制作します。

時間 9:00~12:00、13:00~16:00

※制作時間は1時間程度。

料金 小・中学生2,100円(一般2,600円)

ガラス万華鏡



中に入れるガラスのかけらを選んで、キラキラ光る万華鏡を制作します。

時間 ①9:20~10:20 ②10:30~11:30

③13:20~14:20 ④14:30~15:30

料金 小・中学生1,600円(一般1,900円)

キラキラ写真立て



色ガラスのパーツを貼り付けて、オリジナル写真立てを制作します。

時間 ①9:20~10:20 ②10:30~11:30

③13:20~14:20 ④14:30~15:30

料金 中学生以下1,600円(一般1,800円)

※4歳から体験できます。

場所 富山ガラス工房第2工房(西金屋)

作品のお渡し 吹きガラスは制作日から2週間後以降、万華鏡、写真立ては制作当日。

申込方法 事前に、電話または直接、富山ガラス工房へ。
※中学生以下は保護者同伴。



おうちdeえごま料理コンテスト

が開催されました

富山環境政策課 ☎443-2053

Instagramに投稿された約130件のレシピの中から、各部門のグランプリが決定しました。



👑 インスタ映え賞

みそ
「味噌とコチュジャンの
甘辛野菜ソテーと
レンズ豆 feat.えごま」

@mogmog_a_pさん



👑 楽しんでいるで賞

「えごま巻き」

@katumi756さん



えごまレシピ

を紹介します

👑 ナイスアイデア賞

「とうもろこしのかき揚げ」

@umemayu313さん

【材料(作りやすい分量)】
エゴマの葉……………5、6枚
とうもろこし(ドライパック)
…110g
★薄力粉……………大さじ4
★ベーキングパウダー…4g
★水……………大さじ1弱
★ブラックペッパー…適量
★塩……………少々
揚げ油

- ① ボウルにとうもろこしと★の材料を入れて混ぜる。
※固めのほうが扱いやすい。
- ② エゴマの葉に①をはみ出さない程度に載せる。
- ③ 170℃の油で、時々ひっくり返しながら揚げる。
※エゴマの葉の両端を持って入れるとこぼれにくい。

「富山えごま」のInstagramから、コンテストに投稿されたえごま料理のレシピをぜひご覧ください。フェイスブックでも情報を発信しています。





エコリンク

岡市民プラザまちづくり事業部
☎495-5900
岡中心市街地活性化推進課
☎443-2054

屋外でスケートができる「エコリンク」で、冬の思い出を作りませんか。夜にはイルミネーションが点灯し、ロマンチックな空間でスケートを楽しむことができます。

期間／12月12日(土)～令和3年1月11日(祝)

場所／グランドプラザ(総曲輪三丁目)

入場料／大人700円、中学・高校生500円、小学生以下300円
※貸スケート靴付き。
※毎週(木)17:00以降は中学・高校生無料。

日	月	火	水	木	金	土
						12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31*	1/1*	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11					

利用時間

■ 10:00～19:00

■ 13:00～19:00

★ 10:00～18:00

◆12月12日(土)10:00からオープニングイベントを行います。

※入場時に手指消毒と検温を行います。また、入場制限を行う場合があります。

※利用ごとにスケート靴を消毒します。

図書館本館のイベント

岡図書館本館(西町) ☎461-3200
HP <https://www.library.toyama.toyama.jp/>

■親子で図書館探検 第2弾

地図を持って、各フロアと普段は入ることのできないバックヤードを探検します。

日時／12月12日(土)、13日(日)10:30～11:30、14:00～15:00

対象／小・中学生とその保護者

定員／各回5組(申込順) 費用／無料

申込方法／12月8日(火)～11日(金)に、電話または直接、図書館本館へ。ホームページからも申し込みできます。

■セミナー

「富山市のまちなかの時代変化 ～まちへのあこがれの変遷～」

中心市街地・商店街の成立から現在までの変遷を追うとともに、若者のまちへのあこがれ方の変化などについて話します。

日時／12月20日(日)14:00～15:00

講師／大西宏治おおにしこうじさん(富山大学学術研究部人文科学系教授)

定員／40人(申込順) 費用／無料

申込方法／12月9日(火)～17日(休)に、電話または直接、図書館本館へ。ホームページからも申し込みできます。

■おはなし会

毎月開催する、昔話を中心とした語りの会です。

日時／12月20日(日)14:00～14:30 ※毎月第3(日)開催。

内容／「こびととくつや」「こねこのチョコレート」「雪女」

対象／5歳から 定員／15人(先着順) 費用／無料

ファミリーパーク 冬のイベント

岡ファミリーパーク(古沢) ☎434-1234



12月19日(土)・20日(日)は、カップル入園無料!

■クリスマスごっこタイム

動物たちがケーキやリースに見立てたエサを食べる様子を、飼育係の解説つきで見ることができます。

日時／12月19日(土)、20日(日)

・シバヤギ…13:00～

・モルモット…13:30～

・レッサーパンダ…14:30～

場所／各動物舎 費用／入園料のみ



■パステルアートでクリスマスカードづくり

日時／12月20日(日)13:00～15:00

場所／自然体験センター 費用／1枚200円 ※申込不要。

◆冬の開園情報(令和3年2月28日(日)まで)

【開園時間】10:00～15:30(入園は15:00まで)

【入園料】大人500円、中学生以下無料

※12月28日(月)～1月4日(月)は休園。

・期間中に3回来園すると、オリジナル缶バッジやソフトクリームなどをプレゼントします。

■希少どうぶつを知ろう「オオワシ」

オオワシの生態や体の特徴、野生での現状と保全、飼育下での取り組みについて話します。

日時／12月13日(日)13:00～13:30 場所／バードハウス

費用／入園料のみ

■羊毛でウシのマスコットをつくろう

日時／令和3年1月9日(土)～11日(祝)

10:30～、11:00～、11:30～ ※制作時間は1時間程度。

場所／自然体験センター 定員／各15人(申込順)

費用／1個300円

申込方法／12月12日(土)10:00～、電話で、ファミリーパークへ。

ほっと エッセイ

富山市長 森 雅志

No.179 「注射信者のひとりごと」

僕らの世代はお医者さんに診てもらう際には最後に注射をしてもらわないと物足りなさを感じる人が多いのではなからうか。少なくとも僕はそうだ。だから、診察が薬の処方だけで終わろうとすると、思わず「先生、注射は無いんですか？」と口にしてしまう。医療の現場ではなるべく注射をしないという傾向にあることは分かっているのだけれども…。注射信者としては、注射をした方が回復が早いという思い込みを棄てることができず、ほとんど信仰のようになっているのだ。子どもの頃の注射で劇的に回復したという記憶がそうさせるのだろう。そうは申せ、そろそろ注射信仰を止めないと手に負えない高齢患者になってしまいそう。主治医の先生の処方通りに病氣と向き合うことが一番。「あれ、注射は無いのか」などと思っても決して口にははいけなさと肝に銘じている。

そうは言っても、インフルエンザの予防接種となると話は別である。毎年ワクチン注射を受けている。感染して公務に穴をあけるということを避けたいとの思いからである。もっとも予防接種を受けたとしても万能と言う訳じゃなく、何年間に一度は感染してしまい、一週間程度の自宅隔離を余儀なくされる。この稿を書くにあたり、一番新しいインフルエンザの感染はいつだったのかと気になり、自分のブログを遡ってみた。意外にも前のことで驚いたが、2014年の2月に一週間の隔離休暇をもらっていた。ブログの文章を読み直してみると、同居している娘との食事も避けるという徹底した家庭内隔離をしていたうえに、熱が下が

り体調が回復してからも更に2日間の自宅待機をしていた。誰かに感染させる可能性があるのだから当然である。おそらく電話とメールで仕事をしていただろうなあ。いろんな人に迷惑を掛けたに違いないと思うと今になっても反省させられる。それでもその後の6年半は一度も感染していないということだ。予防接種のお陰であろう。僕自身は今年の接種を10月の初めにしたが、65歳以上の方には無料接種券が配付されているので多くの方に接種してほしいと願っている。もちろん子どもから大人まで多くの方にも受けてほしい。新型コロナとインフルエンザの同時流行だけは避けたいと思うからである。

ところで注射信者としては昔と最近の注射事情を比較して不思議に思うことが何点かある。思いつくままに列挙してみたい。

まず、小学生の頃の集団接種において一本の注射で何人もの生徒が注射されていた記憶があるが、よくぞ無事でいたものだと思うこと。そのうえ昔の注射はとても痛かった記憶があるが今はそうでもないということ。昔は注射の後でよく揉むように言われたが、今は逆に揉まないように言われること。昔は注射をした日には入浴しないように注意されたが今は違うこと。などなどであるが、すべては医療の進歩の賜物ということだろう。その延長線上にあるのが冒頭に書いた注射をしない診療ということになるのだろうなあ。やっぱり注射信仰を棄てる時ということか。

先に紹介したブログの中に子どもの頃の記憶を書いている部分があり読んでみて懐かしい思いにさせられたので披露してみたい。

「目を閉じていると時計の秒針が刻む音が耳につく。急に子どもの頃に風邪で学校を休んで家で寝ていた時のことを思い出す。誰もいない家の中で一人で布団に寝ながら時計の音だけが耳に響いてきて寂しかった記憶だ。時計の音は容赦が無い。確実に時の経過を刻む。自分だけが無為に過ごしているようで不安にさせる。早く学校に行きたいと泣きそうになりながら思っていた記憶が甦ってきた。」というもの。改めて童心を思い出させられているが、この時も近くの医院で痛い注射をしてもらって家で寝ていたのだろうなあ。

今月の 広報クイズ

「持続的かつ適正な橋梁〇〇〇〇〇〇」の実現に向けて、メリハリのある対策を進めます。

〇に入る文字は？

答「〇〇〇〇〇〇」

ハガキかEメールで、答と郵便番号、住所、氏名、年齢、連絡先(電話番号かメールアドレス)と「広報クイズ応募」と書いて、広報課(〒930-8510 新桜町7-38)へ(1人1通)。

広報とやまに対する意見・感想もお待ちしております。

締め切り▶12月14日(月)(必着) [E]kouhou-01@city.toyama.lg.jp

賞品▶500円分の図書カード(抽選で5人)

当選発表▶賞品の発送で代えさせていただきます。

前月の答え 大コメ騒動 前月の応募総数 357件(正解数356件)



今月の
放送日 12月20日(日)11:45~

放送局 KNB 北日本放送(1ch)

テーマ「岩瀬の魅力再発見 ~旧馬場家住宅の公開~」

1月から一般公開が始まる
旧馬場家住宅など岩瀬の魅力
を紹介します。



廻船問屋の家屋が残る岩瀬▶

市ホームページ(まちづくり・市政)⇒インフォメーション⇒とやま情報局